

第2回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告



農作物の生育状況について

4月末の大雪の影響を心配したところですが、その後の天候回復により作付け作業は順調に推移しました。しかしその後はぐずついた天気と低温が重なり、作物の生育の遅れが懸念されるところです。また牧草の生育も心配されますが、天候の回復を願い、一番草の適期刈り取りを行い、二番草の収量確保も重要と判断しております。

牧野の入牧状況について

降雪量が例年より多く、バラ線断線被害を牧野利用組合及び町職員の作業協力を得て補修し、5月20日、21日の入牧を終了しました。今年度より、上地区と下地区の両牧野利用組合を一本化しましたが、順調に運営していただいております。

5月末現在で6カ所、67

10月から若佐で都市間バス利用開始!

9頭が放牧されており、丈夫な牛の育成が期待されます。

漁業について

外海ホタテ稚貝放流が荒天のため、5月15日より5月30日までの延べ16日間を費やし、経済的な負担も大きくなりましたが、予定より1100万粒も上回る9062万5000粒ほどの放流を果たし、特に貝の成長が良く放流始まって以来となるキ口当たり55粒の稚貝で、4年後の成長が楽しみな状況です。

また、本年の稚貝の採苗見込は、オホーツク海で2回目の採苗器投入が始まり、一回目はほとんどがサロマ湖に移入しており、連日ラーバ調査を慎重に行っております。

外海ホタテは6月3日より本操業開始となりましたが、歩留まりの不調により当初一隻あたり日産15トンとしており、今後の貝の状況で22トンに増産を予定し、本年は9200トンの計画であります。

さけ、ます稚魚の中間育成は、7基のいけすで飼育、5月30日には1グラムまで成長

し、放流したところです。

漁港整備事業については、富士土新港北防波堤高上げ及び消波ブロック設置工事が10月30日までを工期として着工しており、今後は旧港東埠頭拡幅工事が7月下旬に、新港北防波堤消波ブロック設置工事は、9月以降の発注予定となっております。

若里分港も新港北防波堤高上げ及び消波ブロック設置工事、西防波堤延長工事が12月10日までを工期に着工しており、若里漁港養殖作業施設も8月頃着工の予定です。

公共事業の執行状況について

21年度の主な工事と委託事業は事業件数26件で、事業費の総額は5億1400万円を予定し、現在13件、発注率12%となっております。

第4期若佐町総合計画策定審議会の審議状況について

昨年11月、35名の審議委員を委嘱し、まちづくり、産業振興、社会福祉教育の3つ

の部会と、まとめ役の調整部会が構成され、すでに各々8回程度の審議が行われており、担当する各項目ごとの現況と課題の整理、さらに計画の素案となる施策の体系整理など順調に審議が進められております。

また関連する住民意向調査も回収率67・59%と前回は10%上回る結果となり、今後の審議に大いに役立つものと思えます。明年早くの中間答申作成に向け準備が進められております。

若佐市街地における都市間バス乗降所の設置について

本町が要望していた札幌、ウトロ間のバス乗降所の件について、中央バスより、10月1日から当面は昼間の上り、下り一便ずつが開始されるとの連絡があり、町民の利用を期待しております。

ドリームフロンティアの役員改選について

5月27日、取締役会で代表取締役を高橋俊道氏が就任されました。